**緑・白・青・赤ナビの選び方**

これから，｢緑ナビ｣，｢白ナビ｣，｢青ナビ｣，｢赤ナビ｣の４冊の中から，今の自分の力に合う問題集を１冊選んで学習していきます。

重要なのは，｢どの問題集を使うか｣ということです。自分の実力を基準にしたとき，その基準より難しすぎる問題集や易しすぎる問題集を使っても，なかなか力はのびません。

今の自分はどのくらい理解できていて，何が足りないのか，どのような力をのばしていきたいのか，ということを考えながら，どの問題集を使って勉強していきたいか，自分で考えてみましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 問　題　集 | それぞれの問題集を選ぶときのめやす・基準の例 |
| **緑ナビ** | ★｢これだけはおさえておきたい｣という内容をしっかり確認するための問題集。 | □忘れてしまったことやわからない内容が多いので，もう一度基礎から確認しなおしたい。□定期テストのような問題を解くには，まだ自信がない。□とにかく，中学３年間の基礎・基本を一からきちんと確認したい。 |
| **白ナビ** | ★基本事項を確実におさえ，身につけるための問題集。 | □中学３年間の学習内容の基礎・基本事項をしっかり身につけたい。□覚えていることもあるけれど，わからない内容もあるので，基本事項を確実におさえておきたい。□定期テストのような問題をたくさん解くには，まだ少しだけ不安が残る。 |
| **青ナビ** | ★基本事項を確認し，さらに実力をつけるための標準的な入試対策問題集。 | □中学３年間の学習内容の基本事項を確認したいし，応用力もつけたい。□高校入試に向け，入試レベルの問題に少しずつチャレンジして力をのばしたい。□難しい問題をたくさん解くには，少し自信がない。 |
| **赤ナビ** | ★発展的な問題にチャレンジし，実力をのばすための入試実戦問題集。 | □これまで学習してきた基礎・基本的な内容は，だいたい理解できていると思う。□いろいろなパターンの入試問題をたくさん解いて力をつけたい。□手ごたえのある難しい問題にもチャレンジし，実戦力をのばしたい。 |

どの問題集を選ぶか考える

｢ナビゲーションテスト｣を参考にする場合

◇｢ナビゲーションテスト｣の点数を判断の材料とする場合は，次の図を参考にしてみましょう。

　ただし，考えるときは，テストの点数だけではなく，ふだんからその教科の学習が好きかどうかということや，上の表の内容なども参考にしながら，自分に合う問題集を選びましょう。